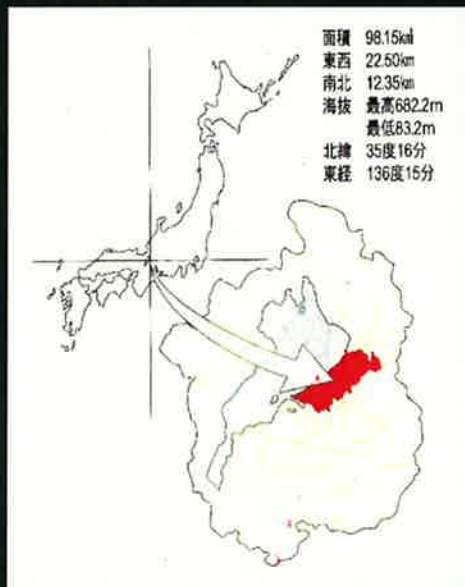


城下町景観を活かしたまちづくり

平成20年10月 2日
彦根城博物館(能舞台)



彦根市の位置

- ・日本列島のほぼ中央・昔も今も交通の要衝（東海道新幹線、JR東海道線、名神高速道路、北陸縦貫自動車道、湖上交通など）
- ・市街地に徳川総軍の西の拠点「国宝彦根城」がそびえ、東には石田三成ゆかりの佐和山城跡を有している
- ・鈴鹿山脈に源を発する芹川・犬上川、宇曾川などが琵琶湖へと注ぎ自然が美しい

彦根市内の景観



南部地域の景観(田園集落景観)



琵琶湖湖岸の松並木



既存集落内の家屋と道路空間



北部地域の景観(市街地景観)



高宮のまちなみ



芹川のケヤキ並木



鳥居本の商家



琵琶湖と比良山系を背景に
浮かぶ彦根城



中山道の松並木



彦根城から俯瞰した
まちなみ

歴史と伝統



彦根城周辺のまちなみ



水と緑

芹川の樽並木



神社へと続く紅葉



市民が集う文化ホール

暮らしと
ふれあい



市内で執り行われるお祭り

活力ある魅力



中心市街地の再生



夢京橋キャッスルロード

都市計画道路事業による取り組み (夢京橋キャッスルロード)



整備前



整備後



区画整理事業による取り組み (四番町スクエア)



整備前



整備後



花しょうぶ通り商店街 (町屋風のファサード整備)



整備前



整備後

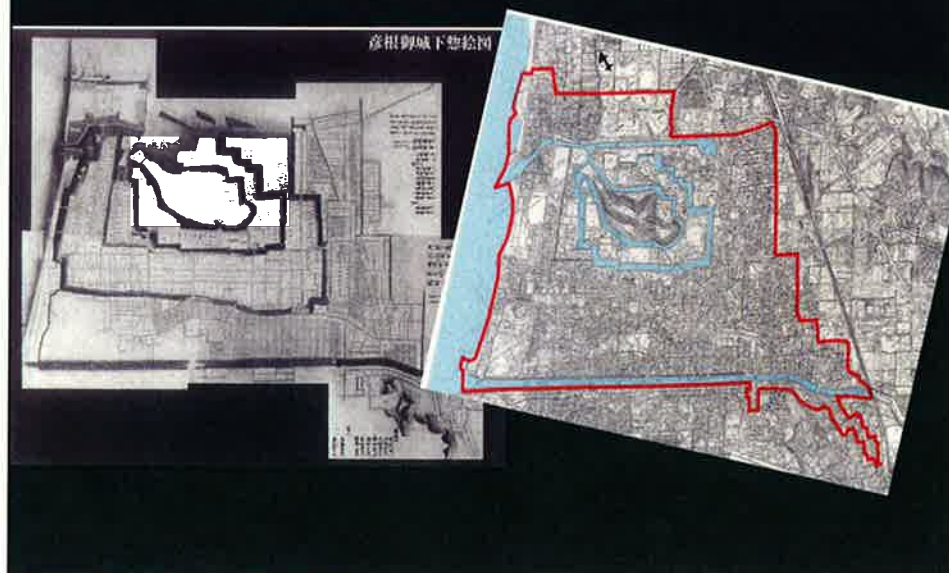
彦根市景観行政のこれまでの取り組み概要

- 平成 6年12月 彦根市都市景観基本計画策定
- 平成 8年 4月 「彦根市快適なまちを創る景観条例」制定
- 平成 9年 4月 条例に基づく大規模建築物行為の届出
施行
- 平成10年 9月 条例に基づく都市景観アドバイザーの設
置および開設
- 平成12年11月 条例に基づく都市景観形成協定の認定
(新海浜地区自治会の認定)
- 平成13年 9月 条例に基づく都市景観形成市民団体の認
定(平田川に桜の通り抜けを造る会認定)
- **平成14年10月 条例に基づく都市景観形成重点地区の指
定(彦根城郭・内曲輪・内町地区)**
- 平成15年 4月 都市景観形成重点地区内行為の届出
施行



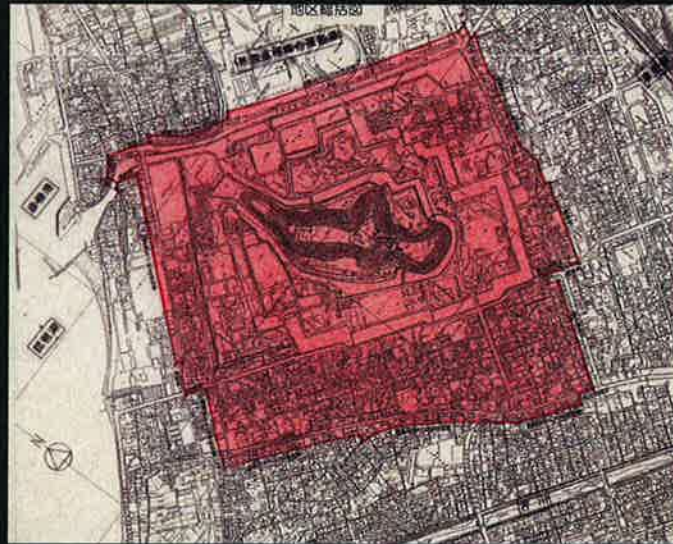
都市景観形成重点地区指定
(彦根城郭・内曲輪・内町地区)

城下町総絵図江戸期(左)と現在(右)



彦根の町家状況(1998年調査)

重点地区内における歴史的建造物



都市景観形成重点地区位置図
(約150ha)



重点地区内における住宅建設の事例



重点地区内における住宅建設の事例



重点地区内における住宅建設の事例



重点地区内における共同住宅建設の事例



重点地区内の宿泊施設建設の事例



重点地区内の商業施設建設の事例



まちづくり協定による「四番町スクエア」のまちづくり



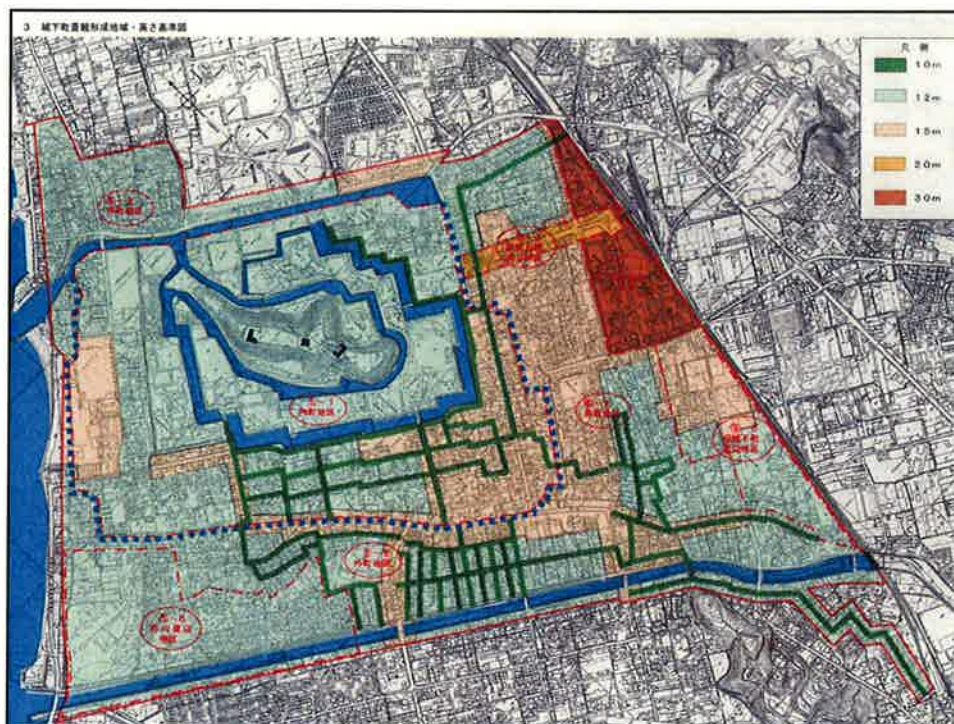
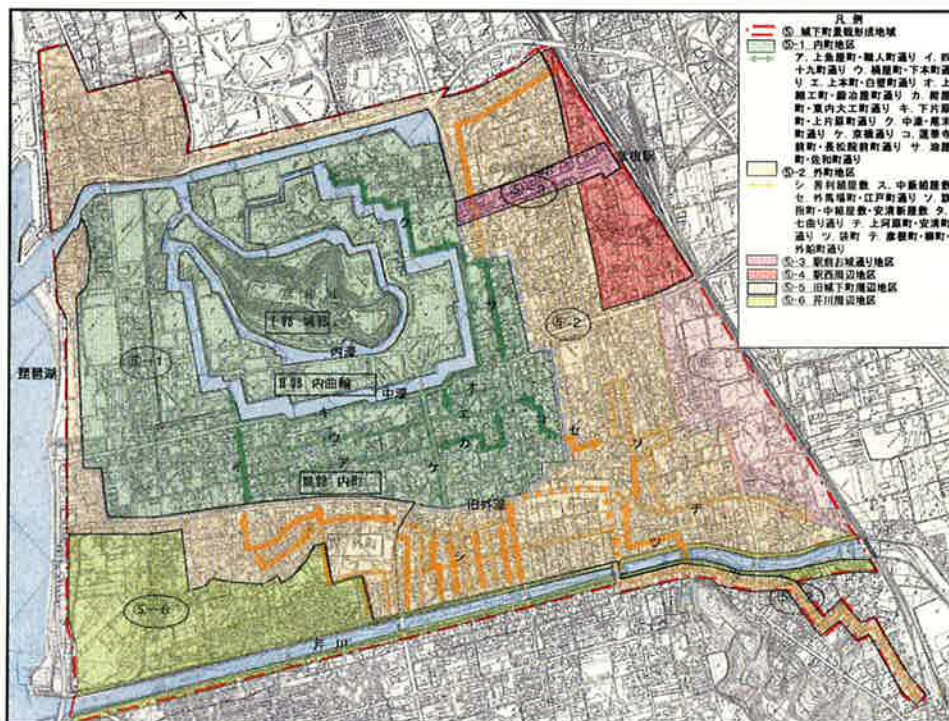
地区計画制度の活用による「夢京橋キャスルロード」のまちづくり

景観計画への移行

平成19年6月22日施行

I 景観計画の区域

- 景観計画区域は、市域全域
(約9,815ha)
- 景観計画区域内で、特に重点的に景観形成を図る地域を景観形成地域として5地域を指定
地域・地区の特性による方針および基準の規定
- 5地域以外の景観計画区域は、緩やかな調和を図るため大規模な建築物等を対象とした景観ゾーンを指定
大規模建築物等に関する基準の規定



眺望点より彦根城天守を眺望



松原橋



彦根駅



大洞弁財天



天寧寺

池州橋から彦根城天守閣・天秤櫓を望む





景観計画行為制限に基づく建築物完成写真





彦根御城下惣絵図

城郭・内曲輪ゾーン
(現在・特別史跡)

商人・職人ゾーン

足軽組屋敷ゾーン

足軽組屋敷に残る
全国でも珍しい
人見堂が残る建物

商人・職人ゾーンのまちなみ

 足軽組屋敷ゾーンのまちなみ

彦根市 城と湖と緑のまち・彦根再生計画

現在でも、この御城下絵図により街並みを再現することから
 まさに、彦根市、御城下絵図のまちなみである。この御城下絵図は、彦根市に
 残る御城下の遺構を詳しく描き、その遺構に合わせた街並みの再現に
 取り組まれている。この御城下絵図は、彦根市に
 残る御城下の遺構を詳しく描き、その遺構に合わせた街並みの再現に
 取り組まれている。この御城下絵図は、彦根市に
 残る御城下の遺構を詳しく描き、その遺構に合わせた街並みの再現に
 取り組まれている。

